

令和8年2月定例記者会見

令和8年2月3日（火）午前11時00分～

<主な発表項目>

・1月24日から営業を開始したとなみ夢の平スキー場において、2月1日砺波市民スポーツ大会冬季大会スキー競技会が開催され、市内各地域から138名の選手が出場した。

今後も「スノーフェスティバル」が2月11日に予定されており、気象状況を確認のうえ、雪に親しんでいただきたい。

また、今後予想される降雪に対応するため、除雪対策費1億円の令和7年度一般会計補正予算を1月23日に専決処分した。一斉除雪は1月から5回出動しており、各地区の除雪委員会や除雪業者等と連携を図りながら、市民の安全安心な生活の確保に万全を期したい。

・衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が1月27日に公示(告示)され、2月8日に投開票が実施される。

1月23日の衆議院の解散に伴い、衆議院議員選挙費として26,362千円の令和7年度一般会計補正予算を専決処分した。入場券は、2月2日から各お宅へ順次配達されている状況である。

〇プラスチックごみをリサイクルしたごみ袋の活用

本市で回収されたプラスチックごみを再生原料として、来年度のごみゼロ運動用のごみ袋を製作した。

分別したプラスチックごみが形を変えてごみ袋として手元に戻り、より、リサイクルを身近に感じてもらうことができる。

ごみゼロ運動時だけでなく、公園清掃などの地域美化活動にも使用できるごみ袋であり、要望があれば無料配布する。



〇2026となみチューリップフェア開催概要

「2026 となみチューリップフェア」の展示及びイベントを発表する。

テーマは「想いをつなぐ となみ花物語」。4月22日から5月5日まで開催する。

会場には、300品種350万本のチューリップで特色ある展示を行う。

大花壇のデザインは、チューリップの両側にハートをデザインし、チューリップを通して人々の想いがつながる様子を表現している。混植を本格的に実施し、会期末まで大花壇のデザインを楽しむことができるように工夫する。

人気の「花の大谷」、「彩りガーデン」は継続して実施し、「水上花壇」は今回初めて会期中に入替えを行う。さらに、「バブルスカイ」は約4倍に延長するほか、「ネモフィラの丘」は面積を拡大して実施する。「チューリップファーム」は、農家のご協力をいただき、さらに油田地区を追加して5地区で実施する。

北陸新幹線や蒸気で走るSL列車に乗れるとファミリーに大人気の「走れ!ミニ列車」を4月25日、26日の両日運行する。今回は、これまでのコースから「大花壇⇒チューリップタワー⇒ひょうたん池⇒ビオラの里」を周回するコースに進化して実施するので、これまでと違う景色を味わっていただきたい。

一昨年、昨年と大変好評であった「京都橘高等学校吹奏楽部特別演奏会」を5月5日に実施する。国内外で高い評価を受けている全国トップレベルのマーチング演奏を、是非、砺波市でお聞きいただきたい。

加えて、新たなデジタルガイドブックの活用や園内のキャッシュレス化を推進していく。

〇チューリップで繋がる台湾との交流

チューリップ球根のブランド力向上をめざして、台湾への球根輸出に取り組んでおり、2月23日～28日にかけて、台湾へ出張し、球根の輸出先である嘉義市文雅小学校との交流、2026士林官邸鬱金香展（チューリップ展）の開幕式への出席を予定している。

今年度は、9品種21,500球の花が砺波エリアを彩り、砺波エリアでは本市が提供した日本風装飾も新調し、チューリップフェアのPRも行う予定である。